

日本臨床化学会関東支部 平成 28 年度常任幹事会 議事録

日時：平成 28 年 11 月 12 日（土） 12:00～13:00

場所：埼玉県立大学 共通棟 1 階中演習室 105

出席者（敬称略）：（監事）菊池 春人、戸塚 実、（常任幹事）小谷 和彦、細萱 茂実、三村 智憲、宮城 博幸、山内 一由、山舘 周恒、吉田 博、（第 25 回総会長）中山 智祥、（第 33 回例会会長）松下 誠、（勉強会代表世話人）中川 央充、（支部長）山田俊幸、（事務局）高浪 勝利

欠席者（敬称略）：（常任幹事）大久保 滋夫、三井田 孝、平山 哲、矢富 裕

1. 支部長選出について

現支部長の山田が 2 年を終え、平成 29 年度からの支部長を選出する必要がある。前回の総会幹事会において、支部長候補は幹事の中から常任幹事会の話合いで選出し、幹事会、総会での承認で決定することが了解されている。

幹事に立候補、推薦を募ったところ、立候補はなし、中山智祥先生、山田現支部長が推薦された。中山先生からは、辞退の申し出があった。当日推薦のあった佐藤麻子先生（女子医大）に候補として確認したが、辞退の申し出があった。

山田は来年度からの本部理事に内定しており、本部内規では、理事と支部長は兼任できないことになっている。この規定を再考する要望を出すことを今年の支部幹事会で了承されていたが、要望の提出はされておらず、この理事選挙の結果を受けて本部に提案したところである。現在、本部執行部で協議中である。本部の途中経過として、本部理事と支部長の兼任を妨げない方向の予定である（12 月 2 日の本部拡大理事会では兼任を承認することが確認された）。

このまま次期支部長を内諾する方が現れない場合は、山田が継続して支部長を務めることでも了承された。なお、再任の場合は長期にわたることを避けるため、1 期 2 年までとの申し合せとすべきとの意見が出された。

2. 監事選出について

上記と同様に、監事候補につき推薦をお願いしたところ、現監事の菊池春人先生、戸塚実先生と、新たに星野忠夫先生、武井泉先生が推薦された。

協議の結果、菊池先生、戸塚先生を推薦することとした。

3. 分科会プロジェクト研究について

現在進行中のプロジェクト

（1）永井 謙一（埼玉県済生会川口総合病院 臨床検査科）

研究テーマ：血清総蛋白質測定の問題点の整理とその標準化に関する研究

（2 年計画の 2 年目）

現在進行中プロジェクトが1件のみであるので応募がない状況。心当たりがあれば紹介をお願いしたい。

4. YIA について

東邦大学佐倉病院、渡邊俊之氏を推薦し、12月の本部総会で表彰される予定である。すぐに次期候補の推薦があるので、ご検討をお願いしたい。

5. 勉強会について（詳細を示す資料が示された）

2016年8月22日 80人参加

次回2017年1月予定

場所：女子医大を予定

内容：クレアチニンについて

講演：菊池先生

6. 2017年度の集会について

(1) 第25回日本臨床化学会関東支部総会

日時：平成28年6月10日（土曜日）

総会長：中山 智祥先生（日本大学）

場所：日大板橋

(2) 第34回日本臨床化学会関東支部例会

日時：平成28年11月または12月

例会長：村本 良三先生（埼玉医科大学）内諾済

7. 2018年度の集会について

総会長：藤田 清貴先生（群馬パース大学）

場所：高崎

例会長：石井 直仁先生（北里大学）

8. その他

幹事および常任幹事の構成について：支部長人事で露呈した課題として、相応しい方が支部幹事（評議員）になっていないことが問題提起された。本部に確認したら評議員枠は支部で決まっていて、退任される方を考慮した枠が示されるとのことであった。以下のような方々が候補として挙げたがそのほかにも推薦いただき、支部長が本人に確認することとなった。

菱沼先生（獨協医大）東田先生（医科歯科大）、三橋先生（埼玉医大）下澤先生（東大）、盛田先生（東邦大学）古川先生（帝京大）など